

ないと思います。男の子たちが体力で女性を従えたりしないためには、女性も心を入れ替え、甘えず、潔い「平等」を小さなうちから、心がけるようにしてはいけないのでは？
 そういう意味では、今の大人社会の男女不平等より、子供の頃の心の教育（特に女の子）が必要だと思えます。そういう長い目で見た真の平等を検討してください。いつもエガールをみる限り、うわべだけのようないふまけが、もっと深く考える必要があるのでは？
 (40代女)

なかなか平等になりにくい。女の心の中にも差別に甘んじている面があるから。でも前進している。(差別解消にむかって)と思う。
 (80代女)

お互いを大事にする、これが基本だと思います。(70代女)
 一人の人間として、当然のこととなることを希っています。(70代女)

家庭内での男女間に於ける「平等」という言葉の意味に？です。男、女の立場の前に私は、人間は総ての人、一人一人の「人権」が平等であると言っていることを、どんな時も大切にしたい。特集座談会の中の嶋田さんの「差別をなくすには……」と言っている言葉でもありました」との箇所が私にとってうなずける処でした。(70代女)

女も男も 人権 は平等である。この理念を社会のいかなるところで、感じられる社会でありたい。(30代女)

大抵、女性が被害者で、男性はそれに気づかない。足を踏んだ人は踏まれた痛みを知らない！公園ママ(20歳代なのだ!!)と話しているも「は女の子だから、大きくなった

ら料理を覚えさせるんだ」と刷りこまれたジェンダー。息子には料理、教えずにいいのはい？とツッコミ入れてしまいました。
 (30代女)

性差は平等とはあり得ない。役割分担を平等にすべき、男女平等という言葉からは、性差も含めた所で同じことを求めるという意味を感じ取れる。(30代女)

当然のことであって、なぜ、いちいち問題になるのかわからない。(30代女)

平等であることは理想だと思う。ただし、もともと男女は肉体だけでなく、本能的に違う考えがあるので(家族の衣食住を支える、家事、育事においては経済的に家庭を支える、比率が男性に多く、仕事上拘束時間が長ければ、無理強いするのは気の毒かも知れませんが、無理強いするのは気の毒かも知れませんがね。(30代女)

男女が全く同様のことをしようとするのは無理なこと。お互いに得手、不得手があるのだから。そのことを認識、理解しながら、自分でできることは自分で行うのが、男女平等だと考えています。(30代女)

興味ある課題ですネ。これからは人間として生きていくことで男女平等は必要不可欠だと強く思います。(30代女)

とつてもそうありたいと願っているのに、現実はずいぶん。社会も家庭もなかなかそうはいかない。日本の国全体が、まだまだ本質的にそうっていない。表面だけは、男女平等にしようとしてるように見えるだけ。
 (30代女)

当たり前の話。但し、男性の意識変革になかなか進んでいない。(60歳代男)
 生物的差を踏まえた議論をお願いします。

(50代男)

社会の動きがおそすぎた。(50代男)

多様化していく中で、男女平等は自然と浸透していくと思われず。しかしながら、そうなるには我々が差別問題に取り組み多くの場で議論、実行していくことが大切だと思います。ただ、最近「強い女性」が活躍していく中で、男性が様々な面で「だらしない、頼りない」とみられてる風潮が一部で見られるような感じがします。(20代男)

平等というのは、本人が平等と感ずるかどうかで、制度で平等ということを作っても、実際の平等は存在しないと。逆に言えば、本人同志(家庭内など)で平等と感ずればよいのでは。(20代男)

基本的に賛成です。しかし、意識を変えるのは男女とも思えます。(70代男)

平等の基本前提から確認しなければなりません。ジェンダー問題はまさにそのことを要求しますので、即答に窮します。いま、このことを考え直しております。(70代男)

身近な夫について感ずることは育てられ方、社会通念等により、全く自分自身で気付かず現状が当たり前という感覚でいることを、違つてしようとわからせる難しさを痛感しています。まず男性の考え方を変えることが第一ではないでしょうか。(50代女)

ご意見・ご感想は、原文のとおり掲載しました。今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

*「エガール」は、公共施設(田無・保谷庁舎・出張所・公民館・図書館・地区会館・市民会館・コール田無・消費者センター・こもれびホール・田無総合福祉センター等)、郵便局、駅に置いてあります。

*バックナンバーをご希望の方は、西東京市民会館2階 生活文化課男女平等推進係へお越しください。

- 1号(2001.12) 特集 働くことは 自分らしく生きること(在庫なし)
- 2号(2002.3) 特集 民法入門 個を大切に家族へ
- 3号(2002.9) 特集 ドメスティック・バイオレンスのない社会を目指して
- 4号(2002.12) 特集 ジェンダー・フリー度は いま
- 5号(2003.3) 特集 女性も男性も ともにいきいきと暮らせるために あなたはどう考えますか?
- 6号(2003.9) 特集 座談会 意識していますか? 家庭の中の男女差別
- 7号(2003.12) 特集 男女雇用機会均等法はできたけれど 職場の中の男女平等は?

回答者の年齢構成(人)

	女	男	合計
20歳代		2	2
30歳代	9		9
40歳代	5	2	7
50歳代	2	3	5
60歳代		1	1
70歳代	3	2	5
80歳代以上	1		1
合計	20	10	30